

研究課題番号	SII-8-3
研究課題名	排出インベントリと観測データ及び物質循環モデル推定に基づく GHG 収支評価
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	伊藤 昭彦

1. 委員の指摘及び提言概要

GHG 収支の現状把握、排出削減目標の見直しなどのため、東アジア地域の水田の CH₄ 放出量推定などにおいて生物地球化学モデルの高度化を進め、シベリア域での純生態系 CO₂ 交換の季節変化を検証すると共に、衛星データを用いた迅速な自然起源 CO₂ 収支の推定に有効な手法を開発している。マルチスケールでの検討、トップダウンとボトムアップの両面の整合性や統合を検討していることは重要であり、しっかりとした成果が生み出されているものと判断する。特に、グローバルストックテイク (GST) に前倒しで情報提供したことは評価できる。IPCC をはじめ、GCP や AsiaFlux などへの多大な国際貢献も評価する。一次生産量把握は諸要因に依存するので、ひまわりと GOSAT-2 観測等の組み合わせなども検討して頂きたい。

2. 採点結果

評価ランク：S